

1 資金収支決算の状況

(1) 収入の主な概要

収入面では、前年度を下回る病床利用率でしたが、地域連携の強化などによる新入院患者を確保するとともに、病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用に努めました。

また、手術件数の全般的な増加、平均在院日数の短縮、医療の質の向上を通じた新たな診療報酬施設基準の取得等による診療単価の増加により、医業収益は前年度と比較して19.5億円上回る646.7億円（前年度比3.1%増）となりました。

(2) 支出の主な概要

支出面では、診療機能の充実・強化、施設基準等取得のための人員増に伴い、給与費が増加、医業収益の伸びに連動した材料費の増加等、医業費用は35.6億円増加し、703億円（前年度比5.3%増）となりました。

(3) 資金収支差

資金収支差は、3.8億円の黒字となりましたが、前年度と比較して14.1億円の減少となりました。

【資金収支】

（単位：億円）

区 分	H26 決算	H25 決算	増 減
収入	798.5	823.7	▲25.2
営業収益	730.9	716.4	14.5
うち医業収益	646.7	627.3	19.5
うち運営費負担金※	82.4	85.8	▲3.4
営業外収益	7.8	7.7	0.1
資本収入	46.5	99.7	▲53.2
支出	794.7	805.9	▲11.1
営業費用	711.5	676.7	34.8
うち医業費用	703.0	667.4	35.6
うち給与費	365.4	351.6	13.8
うち材料費	189.7	178.6	11.1
うち経費	142.3	132.0	10.3
営業外費用	3.7	3.6	0.1
資本支出	69.1	125.6	▲56.5
資金収支差	3.8	17.9	▲14.1

※ 営業収益の運営費負担金は高度医療等に要する経費に対する負担金であり、企業債等の利息償還に対する負担金は営業外収益に、元金償還に対する負担金は資本収入に含む。

※ 端数はそれぞれ四捨五入を行っているため、「増減」や各科目の合計が一致しない場合がある。